

## 第5回 東静岡地区まちづくり協議会 議事録

1. 日 時 令和7年12月22日（月） 10:00～11:30

2. 場 所 静岡市役所静岡庁舎 新館17階 171・172会議室

3. 出席者 別紙 委員名簿のとおり

4. 傍聴者 5名

5. 報告

- (1) 東静岡地区まちづくり基本構想の策定・公表
- (2) まちづくりに関する取組状況

### 【質疑応答】

- ・(飯田委員) 警察署は交通管理者として、パブリックコメントで言うと交通渋滞の対策が主なことになると思っている。対策として、交通現示の話もあったが、現状、長沼からマークイズの交差点は交差する道路それぞれの交通量が多いということで、現示の調整には限界がある。したがって、一番大事なのは交通の総量を削減するための対策ということで、大動脈の一部を動かすのは難しいが、迂回とか、そういった対策が一番重要だと思っている。信号の新しい運用方法があるようなので、検討しながらやっていく。
- ・(飯田委員) もう1点、渋滞の主な原因となる違法駐車の対策であるが、年1回のイベントであれば警察でも対策が取れるが、恒常にいろいろなイベントがあるということであれば、警察ではなかなか追いつかないところがある。駐車場はないと聞いているが、おそらく線路側には送迎の車がずっと並ぶことが想定される。そういうことをさせないための対策も並行して考えていくことが渋滞対策では必要だと思う。ぜひとも一緒に検討していきたい。
- (事務局) 総量の話はこの地区だけでなく、市全体であったり、広域で検討していかなければいけないと思っている。関係者と連携しながら進めていきたい。
- (事務局) 駐車場に関しては、アリーナについては駐車場を設けないという形を考えているが、送迎車や観光バスが来ると思うので、今後事業者が決まるのは3月になるが、事業者と連携しながら、将来的なハード、道路の部分を解消する必要があれば、そのあたりも検討していきたい。
- ・(杉山委員) 長沼に住んでいる人間として2点お願いがある。1点目はペデストリアンデッキについて、アリーナ建設に伴ってペデストリアンデッキの必要性は重々承知しているが、ペデストリアンデッキができると景観、日照、騒音などいろいろな問題が生じてくる。地権者との話し合いが進んでいるということであるが、どういうルートを通るのか地元としては全くわからないため、非常に不安が高まっている。できれば早めにご提示いただきたい。
- ・(杉山委員) もう1点、渋滞について、昨日もマークイズへ行く車のほうが旧東海道でかなり長く渋滞していた。マークイズの交差点は旧東海道から出でいくと国道へ出る車がなかなか右折ができない。

東静岡大橋を下りてくる車はほとんどがマークイズへ行く車だと思うが、左折する車が非常に多いため、信号の矢印が出るまで右折車は出ることができない。右折矢印の時間をもう少し長くしていただけだと右折車がはけて、旧東海道の渋滞が多少減ると思う。信号のサイクルの見直しもぜひ検討をお願いしたい。

→ (事務局) ペデストリアンデッキについて、景観、日陰、騒音など、整備によってもたらされる効果と、それに反して整備による影響があるというのは我々も十分に課題だと思っている。そちらも考慮した上でルートは設定していきたいと思っている。ルートについては、直接関係する地権者と交渉しているところである。その状況が整った段階で皆様にご報告したい。

→ (事務局) 渋滞について、過去よりマークイズの北側の交差点を中心に非常に渋滞している。警察と信号の現示の話をさせていただく中で、どうしても国道1号の交差点になるため、信号の現示をこれ以上変更するのは難しいという話もいただいている。引き続き警察と情報交換しながら、できる対策を検討してまいりたい。

→ (飯田委員) 警察では、マークイズの2つの交差点の渋滞は重々承知している。市、国、事業者と調整しながら、自動車の吸い込みの状況、あと交通状況は日ごとに変わってくる。常に保守業者と連携しながら秒単位で考えているが、数秒単位で定期的に動かしているところである。なかなかドラスティックな解決策はないが、引き続き検討しているところである。

・(柴委員) 長沼駅の位置を変更すると聞いているが、どのようにになっているのか。リニューアルすることになっているが、位置そのものも変えると聞いている。

→ (事務局) ペデストリアンデッキを計画しているので、ペデストリアンデッキが接続する際に長沼駅のリニューアルが必要だということは静岡鉄道と一緒に協議を進めているところである。位置がどう変わるのが、変わるかどうかについては現在検討中であるため現時点ではっきり申し上げることはできないが、長沼駅を改修していきたいということで協議を進めている状況である。

・(中村委員) 長沼大橋について、国土交通省とのつながりの中で、橋の架け替え工事はこれとダブルのか。そこまでは話の中では行っていないのか。それによって国道と南北での交通の渋滞の解消も少しは変わらるのかなと思っている。長沼駅の踏切の状態が、駅を移設することによって、ペデストリアンデッキとぶつかったところに駅が来ると、だいぶ改善される可能性がある。静岡鉄道さんへのお願いになるが、その辺はどうなのか。

→ (事務局) 長沼大橋の立体化について国土交通省と事業化に向けて検討を進めているところである。今のところまだ目途が立っていない。引き続き協力しながら事業化に向けた取組を進めているところである。

→ (池谷委員) ペデストリアンデッキと長沼駅の接続については、鋭意検討を進めているところである。我々としても、回遊性や利便性向上に寄与するものと思っているので、全面的に協力していくと考えているが、事業費がかかるので、そのあたりも含めて静岡市と協議し、駅の位置など、どこまでの投資ができるのかを詰めているところである。内容が固まり次第お伝えしたい。もう少々お待ちいただきたい。

・(村上委員) 資料9の東静岡2号調整池の関係で確認だが、令和7年に民間事業者の公募を実施しているということであるが、池田東静岡公園の周辺道路については駐車違反を当署でも把握している。

利用方法や駐車場台数については事前に南署に相談していただきたい。

→ (事務局) 公募して、実施事業者が決まった。こちらの場所はあくまで調整池なので、調整池機能を損なわない活用という原則の中で、河川の関係の許可になる。今許可協議を行っている。今年度中にまとまる予定になっている。一定程度進んだ段階で、南署に話をさせていただきたい。基本的には池田東静岡公園は非常に人気で、その周り、調整池をぐるっと回るように駐車されていることが地元の不満ということで、それをきっかけにそういう活動をしようということで動き出している。地元の方の期待に応えながら進めるためにこの内容を決めているところである。具体的な運用方法については事業者の方から相談に行かせるのでよろしくお願ひしたい。

- ・(平井委員) 資料4、パブリックコメントで基本構想案に対して賛成が92、反対7ということで、ここまで多く賛成がある構想ということで、関心が高まっているということだと思うし、支持を得ているということだと思う。ぜひこのまちづくりの推進を引き続き進めていきたい。反対の意見について、例えば図書館は、学び・交流・創造の機能に期待するということで、全国的にも多機能の図書館が展開されていると思う。ぜひ新しい図書館の計画においても、今見直しの方向性を検討されているが、多機能の図書館ということで、市民、県民、できれば広域からも期待したいところであるが、新しい図書館の見直しにおいてはそういう方向性を検討いただきたい。
- ・(平井委員) 図書館の見直しの方向性の考え方で、場所としては南口の2.43haあたりを考えるということで、駅直結の図書館という方向性は変わらないと思った。スケジュールも大きく変わらないということで、見直しの方向性としては大きな変更はない。ただ、事業手法が変わってくるということで、県直営から民間活力ということで、ぜひ民間活力でも見直しがないように、引き続き整備手法等で検討をいただきたい。
- ・(平井委員) バンダイの話について、9月から2カ月間で1万人が来場したということで、県外から7割ということであるが、来場された方の交通手段を分析されていたらお伺いしたい。車で来られて交通渋滞がどれぐらいあったかとか、鉄道を利用いただいた方がどれぐらいあったのか。県外からが全体の7割ということで、首都圏、中部圏からの観光誘致に寄与するということで非常にいいコンテンツなので、広域からのプロモーションをしっかりとやっていくと、引き続き東静岡のまちが発展していくと思う。ぜひそういう取組ができるとよい。アリーナができると、合わせて県外、広域からも誘客できる。アリーナの計画においても、ぜひ広域からも呼び込めるような内容になるとよいと思う。
- ・(平井委員) 全体的に点の整備が面として広がっていく上で、モビリティは大切だと思う。AIのオンデマンドを検討いただいているのは非常に素晴らしいと思っている。点の整備が面としてつながって、まちが全体として広がっていく、まちづくりにつながっていくとよいと思う。
- ・(平井委員) 東静岡の駅周辺は公共空間が非常に多いところだと思う。作る、使う部門をコンペでやっていたと思う。当面どんな使い方をするかということも引き続き議論できるとよいと思う。
- (静岡県) 新県立中央図書館の機能について、今後見直しの作業を進めていくが、今回プロジェクトチームによって示された見直しの方向性に基づき、基本構想、基本計画の中で多くの県民の皆様が利用できるようなサービス体制をしっかりと議論していきたいと考えている。
- (事務局) バンダイへの交通手段については把握ができていない。これからまちづくりをする中でバンダイとも連携しながら進めていきたい。バンダイは駐車場は設けていないので、恐らく鉄道などで来ているのではないかと思う。AIオンデマンド等もうまく活用しながら域内の交通を確保

して、このエリアは渋滞が課題であるので、対策を取っていきたい。

- ・(杉山委員) バンダイの新工場について、新聞報道では年間20万人が来場するということで、地域としても渋滞したらどうするのか、駅の改札が混んで、外にはみ出れば危ないのではないかという意見があった。いざオープンしてみると、1日最大400人ということで、1組20人ずつの募集が20組、10時間では600分、600分で400人の来場者である。渋滞は全くない。地元としては特に何も危惧していない。来場する方もバンダイから駐車場がないということを言われているので、車で来場する方もない。今のところ渋滞などで心配することは何もないと考えている。
- (事務局) 今のところ1日400人であるが、これから増えて、年間20万人をめざしたり、もっと増えていく可能性もあると思っている。今は何とか交通渋滞はないので、それを引き続きバンダイとも連携しながらまちづくりに取り組んでいきたい。
- (杉山委員) バンダイの中にコースがあつてぐるっと回るのだが、バンダイの資料の4ページに写真があるが、一人一人自分で色を変えたりいろいろデザインができる。その機械が20台セットされていて、1組20人という形で、1人1台ずつ操作するようにできている。そのため、募集するにあたっても1組20人という形で募集されている。それを100人、200人募集するということは考えられない。今のところ地元としては渋滞はないと考えている。

## 6. 議事

### 東静岡地区まちづくり基本計画について

- ・(山本委員) 西の代理である。大丸有という東京のまちづくり会社と並んで事例を出していただいて恐縮である。一般社団法人草薙カルテッドはまちづくり会社である。まちづくりというキーワードで10年ほど取り組んでいるが、まだ難しい。一体誰がやっていて、何をやっているんだという、まちづくりはやればやるほど難しいと感じている。我々が特徴的なのは、ハード整備、駅の再開発と、それを機に地域の方々と取り組むということで、2つの軸、官民の連携と地域連携ということで動いている。草薙地区でも、私が商店会長のときに地元の連合自治会長の皆様とともにやらせてもらったが、連合自治会長1人と一緒に今やっているが、今日皆さんここに連合自治会長の方が来られていらっしゃるということにまず驚いたし、緊張している。草薙地区と違い、東静岡地区の開発のポテンシャルの高さにまずは驚いている。バンダイや新アリーナ、県立図書館が新しくなることについても、これだけのことが動いているということですごい可能性を感じる。一方、エリアマネジメントという文脈からすると、連合自治会長の皆様は詳しい話であるが、市民が動き出すというのはなかなか難しい。意外と奥ゆかしかったり、私たちの声はどうせ届かないという諦めがあったり、そういったことで我々は苦労してこれまで取り組んできた。わかりやすいと思ったのは、まちづくり基本構想の28ページ、市民と事業者と行政ということで、大体このように書くのだが、これが本当に難しい。私は事業者であり、まちづくり会社以外でも、草薙のエリアで事業をやっている。ずっとこの地区的動きは見てきたが、マークイズの話があったが、家族連れで昨日もマークイズに行つた。一昨日は池田東静岡公園は子どもたちの遊び場として最高なので、ヘビーユーザーでいつも行っている。その中でママ友たちが仲良くなっているいろいろな話をしていて、子どもたちのためにこんなことができたらいい、あんなことができたらいいという小さなコミュニティが少しずつできたりしている。しかし、自分たちの声を誰に届けていいかわからない。どうせ届かないという

諦め感を持っている方がいらっしゃった。今日ここに行政その他いろいろな方がいらっしゃるので、そういう声をどんどん拾ってつなげていただけるとすごく可能性があると思う。これだけのことが揃うと逆にちょっと大きすぎて市民の皆さんには近づきにくくなる傾向があると思う。草薙のような小さなまちでもそういうことがあったので、なおさらこちらではそうではないかと思う。いろいろ動き出している、生まれている声を丁寧に拾っていただきたい。

- ・(山本委員) もう1つ、我々は草薙地区で、学生たちはいろいろなことにチャレンジしたがっている。草薙地区の枠の中には到底収まりきらないようないろいろなことをやりたい学生がたくさんいる。我々は電車1本で草薙から東静岡に来られる。学生のチャレンジプロジェクトは東静岡で動いていくことに絡ませてもらえないかと学生たちが言っている。行政をはじめ、皆さんにそういった機会を後押ししていただけるとお役立ちできるし、学生もチャレンジできる、経験値を稼げる形になるのではないか。我々草薙カルテッドとしても東静岡の活性化は、草薙も同じ副都心の位置づけにさせていただいているので、ぜひ何かしら情報共有させていただきながら、面白くなる静岡市のために力を発揮させていただけると嬉しい。

→(事務局) 東静岡で、アリーナや図書館などいろいろなプロジェクトが動く中で、これをうまく持続的にやっていくにはエリアマネジメントが重要だと思っている。市民、事業者がいかに東静岡地区に期待してもらい、投資したいとか関わりたいと思ってもらえるようなまちづくりを進めたいという思いがある。コンペの中にもまちを楽しむ部門ということで、今でも始められるようなことのきっかけづくりなどになればと思って、そういう形で進めているところである。今、主要プロジェクトで挙がっているものも、例えばアリーナであれば2030年、図書館であればその先とかいろいろあるが、できたころにはエリマネもうまく多少でも動いている形にできないかという思いで、エリマネも計画を具体化していく基本計画の中で少しずつ動いていければということで、ぜひ皆さんからご意見をいただきながら、企業さんとも調整しながらやりたいと思っている。

- ・(杉山委員) アリーナの建設については3年ぐらい前から毎月市の担当の方が長沼に来て、町内の会合に参加されて話し合いされているが、全く進展がない。なぜ長沼は閉鎖的なのか。私は78歳なので昔のことを知っているのはせいぜい70年ぐらいだが、この70年の間に草薙と長沼を比べた場合、私は小学校は草薙なので、昭和29年に小学校に入学した。そのとき草薙駅は茶畑の中にあった。ホームからすぐ南側は一面茶畑で、南幹線はない時代、旧東海道が1本走っているだけ。草薙で6年間過ごした。その後、中学、高校、大学、就職、十数年後に転勤で昭和53年から25年間草薙で過ごした。定年後も10年ほど再就職という形で草薙にいた。その間、草薙はすごい。53年ごろから区画整理が始まり、どんどん変わった。静岡銀行が41年ごろに草薙に本部機能が移り、当時コンピュータ化が言われた時代なので、コンピュータ要員として草薙に大勢の人間が注ぎ込まれた。静岡銀行が通勤に車を禁止しているので、全部がJRもしくは静岡鉄道という形で、草薙のまちの中を通って通勤している。草薙のまちはどんどん変わった。特に飲食店、飲み屋が増えた。一方長沼は、昭和50年代の終わりに日東紡績が操業を停止して撤退した。中には女子寮があり、大勢の女子工員がいた。その北側には住宅がたくさんあり、社宅に大勢の人がいた。国道沿いには相川鉄工、永田部品製造があり、その社宅も長沼にあったが、相川鉄工は岡部へ、永田部品製造は丸子へという形で長沼から撤退した。そのために長沼の旧道沿いに商店街があつたが、お客さんがいなくなり、今はほとんどが閉店している。閉店すると、その次世代はサラリーマンで、次の子ども

たちは県外へ就職が非常に多く、長沼地区はどんどん高齢化が進んで年寄りばかりが残っている。そういう中で、今まちづくり、まちづくりという形で言われているが、それを聞いている私たちは高齢者ばかりになり、なかなか腰が上がらないという状態である。草薙がうまくいったから、次は東静岡のまちづくりだと言われても、なかなか動いてくれる人がいない。今そういう状況である。そういうことを踏まえてご協力をお願いしたい。

→（事務局）毎月市の職員も行かせてもらい意見交換しているが、高齢化など、地区の課題は我々も認識している。今新しく投資が進んだりすると、草薙のように新しい人が大勢来るきっかけになると思っている。エリマネは誰がやるかがすごく難しいというのは思っている。企業や地域の方とか、今の町内会長にやれというわけではなく、学生さんもいらっしゃるので、ぜひそういう力もうまく使って、企業はどちらかというとエリマネを自分たちの儲けというか、企業のためにやるという形でやっていかないと持続的には行かないと思うし、地域の方もやらされてやるというよりは、自分たちのためにやるという形を取ればよいと思っている。町内会長さんにもご協力いただきながら一緒にそういう輪を広げていきたいと思っている。

・(古居委員)今までのエリアマネジメントの関係とはずれるが、15ページの④まちの将来展望図について、取組を合わせて検討いただいたらどうかという提案である。イメージであるが、8ページに参考事例という形でコンペの提案があった。「緑と水が織りなす新しい東海道」というキーワードがある。静岡国道事務所は東静岡も含めて国道1号、昔の東海道という観点で、我々静岡国道においても風景街道という取組があり、まさにこの地区も含めてであるが、国道1号の沿線で、西は宇津ノ谷峠、東は蒲原の間をつなぐ2峠6宿という静岡の東海道という風景街道の取組をしている。その中で、皆さん馴染みがないかもしれないが、区域に旧東海道がどこかというところを適宜国道1号でも歩道などに路面の表示で旧東海道と記載している。そういう観点で、せっかくコンペの中で新しい東海道というキーワードがあるのであれば、宿場町は東静岡の地区にないが、そこを含めて、まちづくりという観点で歴史街道も合わせて入れていただき、かつ新しい東海道なので、新しい都市を目指すというところで、過去の歴史も少し絡めた形でまちづくりという観点で入れていただいてはどうか。

・(古居委員)また、風景街道というぐらいなので、風景という観点でも関連があると思うが、パブリックコメントのコメントでも場所によっては富士山の景色という話があった。現在の長沼大橋から富士山がきれいに見える話もある。ペデストリアンデッキやアリーナ、図書館からの風景という観点を少し入れていただき、東海道、風景という観点も合わせてまちづくりの検討の中に入れていただいてはどうか。

→（事務局）国道1号より北側に東海道が通っている。残念ながら面影が感じられないが、東海道が通っていたという歴史は大事にしていきたい。何ができるかはこれから検討するが、歴史にも配慮していきたい。

→（事務局）風景、景観についても、東静岡は景観計画の重点地区にもなっているので、このエリアを長沼まで拡大していくとか、その内容についても付け加えるとか、そういうことも含めて東静岡のまちづくりが進むときに改めてそういうところも一緒に検討していきたい。

・(石川委員)この計画を見ていてワクワクドキドキする。今お母さんたちは子どもさんを連れいろいろなところに出かけたい。お金がかからなくて、雨でも濡れず、楽しいところ、すごくコミュニテ

イを求めている。私はまちの真ん中に子育て支援センター、子育てサロンのようなものがあるとよいと思っている。その辺りが主体的な取組という中で展開されるとよいと思っている。

- ・(石川委員) 子どもたちは東静岡駅に来て新幹線が通るのをすごく楽しみにしている。そういうスペースもそのまま残していただきたい。
- ・(石川委員) 山形の駅に降りたときに、絵本のスペースとか本が自由に置いてあって、見たい人は見て、返したい人は返して、もらっていきたい人はもらってみたいな、そういう空間、ほっとするような空間がこのまちづくりの中にあるとよいと思う。楽しみにしている。
- ・(平井委員) 民間投資を加速するということを想定しているということであるが、民間投資にしても公共事業にしても今建設費も上がっていて厳しい現実がある中で、どのようにまちづくりを推進していくか。アリーナと図書館とバンダイ、ペデストリアンデッキ、そういう核となる施設を明確化するとか、ゾーニングでしっかりと位置づけて、それをいかに回遊していくか、どう結び付けていくかというところの仕掛けを組み立てていくのがよいのではないか。そうした中で徐々にそれができてきて、人が集まってきて、そのコンテンツの充実が必要だと思うし、モビリティも大切だと思うが、そうすると、公共投資が生まれていくかというと、なかなか厳しい現実もあるかもしれない。そもそも公共投資がどこでできるのかというのも外から見るとわからないのではないか。公共投資を誘導する場所はどこなのかというところも考え方としてあるならば、将来展望図、ゾーニングの中に落とし込んでいき、そこに誘致していくといいと思う。単純に民間投資するにしても、厳しい現実がある中で、規制緩和とか支援というやり方も制度として1回組み立てていく必要があるのではないか。そういう核となる施設ができてくるとそれでまちができ上がっていくと思うが、駅前周辺に公共的な空間がたくさんあるということで、その設えや使い方を考えていこうと基本構想にはあるのだが、公共的空間のどこが使える空間なのかということも明確化していくことも大切ではないか。駅前広場は使えるのかとか、駅前広場のロータリーは休日は市民に開放して賑わい空間として実証実験をやっていくのかとか、グランシップの芝生は使っていいのかとか、そこでマルシェをやっていいのかとか、わからない。そういうことをわかるようにしていくと徐々に人が集まってきたり、チャレンジしていこうという機運が高まっていくのではないか。組み立てていくことが必要である。少しずつでもスマールスタートを切り、そういう中でだんだん機運が高まってきて民間投資が期待できるということだと思う。いきなり民間投資を加速するにはどうしたらいいかとやるとなかなか厳しいと思う。ロードマップをしっかりと組み立てて、ゾーニングにしてもわかりやすくする、使える空間をわかりやすくする、公共空間として整備する範囲もわかりやすくする、誘導するものも明確化していくというところが大切だと思う。
- ・(平井委員) エリマネの大丸有の事例をここに出してもどうなのかと思った。デベロッパーが中心になってスタートした話だと思うので、自分たちのまちをどう高めていくか。その中で道路空間もウォーカブル化して、周辺の建物と一体的に価値を生み出していくみたいな、そういう目的があると思う。東静岡に合ったエリマネのあり方、事例として大丸有が適切なのかどうかわからないが、エリアマネジメントはいろいろな形があると思うので、東静岡の現実に合ったエリマネが全国的な事例として何がいいのかというところも研究して具体化に向けてやっていく。公共空間を使って収益を上げたもので還元していくという仕組みを作っていくとか、収益源が必要だと思う。収益源があつてプレイヤーの人たちが集ってきてエリマネが立ち上がるということだと思うが、自然体では立ち上がらないと思う。何らかの支援していくような体制を作りながら、あとは自走化できるように

持っていくというストーリーなのではないかと思う。

→(事務局) 公共投資とか公共空間はどこが使えるかとか、今回調整池の活用も1つだと思っている。

県の土地、市の土地、そういう公共空間もエリア内にある。そういうところも基本計画の中である程度使えるところを明示しながら、公共空間の広場とか、今あるものを使えるとか、そういうところも明示しながらやっていきたい。市の公共空間や県の土地であっても、そこに公共だけでなく、民間に投資してもらいたいという思いもある。より皆さんができると思うような形を考えていきたい。

→(事務局) エリマネについても、東静岡に合った形は我々も考えなければいけないと思っている。

基本計画の中にカスタマイズして、東静岡だとこうやるとできるのではないかとか、そういうところも研究していきたい。

- ・(田宮委員) 政令市の中で静岡市が一番道路状況がよくない。特に南北道路がないために、今回の東静岡駅と長沼大橋を跨いだ交通網もできれば、回り道しないで真っ直ぐ通るような道を作ってほしいとか、そういう問題もある。
- ・(田宮委員) 地域の人たちが期待するような東静岡のまちづくりをやってほしい。特に駿河区のほうについてはまだ用地的にも余裕がある。特に最近は東名より上に住宅が非常に増えて、世帯数が増えている。そういうことも考え、駿河区、葵区との交流ももっとスムーズに行ければ交流も増えると思う。発展するためには静岡市の住民がうまく東静岡駅周辺にできる設備などを利用しながら交流ができるまちづくりを入れてほしい。
- ・(池谷委員) エリアマネジメントについて、今回アリーナという核となる施設が地域にできるということで、そこを馴染ませながら、地域をどう底上げするかというところかなと思っている。馴染ませるというところでエリマネの組織が有効だと思う。我々もB to Cで地域の方にご利用いただきながら事業活動があるというところで、行政及び市民の方々との共創を私たちも意識しているところである。と言いながら、なかなか実際にディスカッションしながらでも、見ているところが同じようで、ちょっと違う、ずれているというところも多々あるところに難しさがあると思っている。こういった組織で、粘り強くディスカッションしながら認識を合わせていくことしかないと思っている。馴染ませるというところでは、週末の集客のあるところを事業者が例えれば収益性を事業者としていろいろ投資するというところもある程度あると思うが、なかなか平日というところで、地域の方が使っていくというところでは、事業者は最初はいろいろな投資はしてくれるかなという気はするが、そこを持続的にというところはなかなか難しいと思う。持続性を持たせるというところである意味収益性を持たせる仕組みづくりが必要だと思っている。エリマネ組織で市民の方から実際のニーズを教えていただきながら事業者がそこに対する収益化のヒントみたいなものを提供できる、そんな工夫ができるといいのかなと思う。実際地域の方の利便性というところは見えづらいところだが、そういったところが難しい事業であるので、こういったところで1つ声を引き出しながら、行政にもまちへの公金投資をしていただきながら、好循環が生まれていくと思っている。
- ・(遠藤座長) これで次までに基本計画の骨子案を作っていく。資料の2ページに構成案があるが、今日いろいろな話をいただいているが、これまでの議論や資料の立てつけから主要プロジェクトに全部落とし込んでいくみたいなニュアンスが強いような雰囲気があったが、今日出た話は全部プロジェ

クトになるかというと、そうではないものもあると思う。そこをバランスよく基本計画の中で位置づけていくためには、2ページの基本計画の4. まちづくりの実現方策の部分をどうしっかりと書くかということだと思う。これは実現方策ではなく、推進方策としたほうがよいのではないか。

- ・(遠藤座長) 1つ目に、交通の話が今回たくさん出た。交通の話は本来、上位計画や交通の全体計画がある、その中でこの地区でどんなことが必要かということを位置づけていかないと見えない。毎回、個別の交通の話題が出てくるが、全体の中でそれはやることであるし、1つのプロジェクトをやったら解決することはないと思う。じわじわやっていくこともある。全体が今まで市や計画でいろいろ進めている中でどのように位置づけられていくのかということをまず明確にすることが大事だと思う。そういうことをまちづくりの推進方策というか、考え方とか、現状の課題だけでもいいと思うので、1回整理をしていただく必要があると思う。交通に関することは全体の中で考えたほうがよい。
- ・(遠藤座長) 2点目に、2号調整池の話が報告として出てきたが、これは今までなかったような話だと思う。途中で民間投資の話や公共空間をどう活用していくのかという話があり、1号調整池という話もあった。これも2号調整池だけを考えるのではなく、本来は使える公共空間をどうやって東静岡のまちづくりの資源として使っていくのかということのはずである。これも大きなマップがあって、今後利活用の可能性がありそうな公共空間がこういうところにあると。それがどんな公共投資をするかはまだ決まっていないこともあると思うが、まずそういうポテンシャルがわかる図のまとめが必要だと思う。その上で、ある程度明記できるものがあればそこに民間としてこれであれば何かやろうということが見えてくると思う。そういう参考になるような材料を整理することが大事だと思う。
- ・(遠藤座長) 3点目、バンダイの話について、これはバンダイがやられていることなので、それを見守るというだけではまちづくりとしてあまり意味がないと思う。バンダイがやっていることをどうまちづくりとしてサポートするのか、する必要があるのか、どう連携するのか。何がまちづくりの中で位置づけていけるのかということを一旦整理していただく必要があるのではないか。バンダイだけでなく、バンダイ的なことが出てきたときに東静岡でどうやるのかという問題だと思う。バンダイの話をどのように仕組み的にこれに対応していくのかという、そういうメタレベルで話を整理していただく必要があると思う。まちづくりとしてどうサポートしていくのかという、そういう問い合わせの設定がないのではないか。
- ・(遠藤座長) 4点目、谷津山の保全の話について、主要プロジェクトにも位置づけられている基本の方針のところにあるのだが、途中で古居委員から水と緑、歴史の街道の話があったが、これは大きく見ると水と緑の東静岡というか、静岡全体でどのように考えるかということだと思う。一般的にはグリーンインフラのネットワークとか、大きな水と緑の保全と、人がどうやって利用していくのかという考え方の中でこういうものが出てくるはずである。バンダイと一緒に、こうやって活動している人がいるというだけではどうしようもなくて、これをどうやって、市の上位計画もあって、水と緑のまちづくりを進めていく中で市がどのようにサポートしていくと全体としてうまく進んでいくのかということの中で、この話がプロジェクトとしてやるべきことが見えてくるとよいと思う。そういう観点に広げてプロジェクトの中での整理をお願いしたい。
- ・(遠藤座長) 5つ目に、オンデマンド交通について、このエリアを見ていくと大谷・小鹿のまちづくりと非常に関連が深いと思う。大谷・小鹿でもオンデマンド交通に近いことで話題になったと思う。その関係があるのかないのかということは整理をお願いしたい。

- ・(遠藤座長) 6点目、歴史の話、子どもの居場所など、恐らくプロジェクトと考えていくと太文字のプロジェクトでは位置づけられないような、しかし重要なテーマはいくつかあると思う。それをこの基本計画の中でどのように明示するのか、何か位置づけていくのかというところが今の枠組みでは見えにくい。4のまちづくりの推進方策的なところにそういうものの受け皿になるような整理する場所を作っていただいたほうがよいのではないか。プロジェクトがずらっと並ぶと何がまちづくりのテーマなのかが見えにくくなる。そういうテーマをもう少し整理する必要があるのではないか。方針があってプロジェクトがあるというのはいいのだが、もう少し広く根底にあるテーマがあると思う。そこを意識して4のところが整理できるとよい。
  - ・(遠藤座長) 7点目、エリマネの話が今回出てきた。プロジェクトの話もエリマネに関係するのだが、そういうことでは拾えないものとか、そもそも将来展望図を作りながらまちづくりをすることがあるが、今見えていないことも含めてまちづくりは進んでいくわけだから、それを受け皿にするのがエリマネだと思う。東静岡版のエリマネをどのように考えていったらいいかというところは、今回はこういう市の問題意識としてエリマネは大事だということを出していただいたことは大事だと思うので、次の展開としてこの部分をもう少し厚みをつけていただくと全体のバランスが取れていくのではないかと感じた。以上7点、今日のまとめも含めて、次への作業課題も含めてまとめとしたい。追加の意見があれば事務局にお伝えいただきたい。
- (事務局) いただいた意見を踏まえて、これから基本計画を検討していきたい。その際に皆様にご検討いただくこともあると思うが、そのときはよろしくお願いしたい。次回は今日いただいた意見を整理して基本計画の骨子案を提示させていただく。来年春を予定しているのでよろしくお願いする。

(以上)